

「第5回 朝日野総合病院 緩和ケア研修会」を開催しました

事務部 今村 幸代

2021年10月22日（金）18時から、緩和ケア研修会を開催致しました。

今回、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、初のWEB開催となりました。

まずは、緩和ケア病棟師長より、「朝日野総合病院・緩和ケア病棟の現状報告」の中で、コロナ禍での窓越し面会の取り組み等を発表致しました。

続いて、総合リハビリテーションセンター 言語聴覚士 緒方礼華より、「在宅で『食べたい』を支える～終末期の訪問リハビリ」において、在宅での言語聴覚士の関わりや言語聴覚士が担う役割等を発表しました。

最後に、「訪問看護 ひたむき」所長 濱崎英美様より特別講演「コロナ禍での在宅看取り～訪問看護の実際～」を行って頂きました。コロナ禍での看取りの場面を事例の紹介をしながら解説して頂き、最後に視聴された方々からの数多くのご質問に対して丁寧なご回答があり、参加された医療従事者にとっては“在宅での看取り”という、携わる機会が少ない貴重な内容の御講話でした。研修会終了後のアンケートでは、8割以上の方々が「緩和ケアへの関心が高まった」という感想を書かれていました。

この度は、45施設100名を超える外部の方々にWEBでご視聴頂きました事、誠にありがとうございました。今回の緩和ケア研修会を機会に、より一層「地域との連携」を深め、地域の皆様に信頼される緩和ケア病棟を運営して参りたいと存じます。

